

## 第3学年「総合的な学習の時間」学習指導案

日時 平成21年10月9日（金）5校時

学級 3年A組 男子9名 女子8名 計17名

指導者 教諭

### 1 題材 「重茂の未来～私たちの提言～」

### 2 題材について

#### (1) 題材について

本校の研究の3つの視点の1つが「重茂の発展を考え、発表する」であり、それを受けて、総合的な学習の時間は「重茂の発展を考える学習」として設定している。

昨年度は「重茂の現在」を大テーマに掲げ、「福祉」「自然」「産業」「生活」等を小テーマに、様々な角度から現在の重茂をとらえさせ、自分たちが住む重茂の良さの再発見、重茂の問題点・課題点の把握を通して、自分たちが今後どのように重茂に関わり生活していけばよいのかを考えさせた。

今年度3年生では「重茂の未来～私たちの提言～」というテーマを設定し調査活動を行った。昨年度の調査活動を踏まえながら重茂の未来を考え、重茂が発展するために、重茂の良さが失われないようにするために自分たちができること、考えられることは何かということを考えさせたい。

また、総合的な学習の時間を通して、コミュニケーション力、自己表現力、そして、問題の解決や探究活動に主体的、協同的に取り組む態度を育て、さらに、自己の生き方を考えることができるようにしていきたい。

#### (2) 生徒について

本学級は、普段の生活の中でも行事でも協力的であり、1つのことをみんなで成し遂げようと努力することができる。男子は気がきく働き者が多く、女子は客観的に状況を把握することができる生徒が多い。全体的に物事を考える力を持っているものの、それを自ら表現しようとすることがほとんどなく、自己表現力が弱い。また、学習においても消極的で、進んで調べたり考えたりということを億劫がる生徒が多くみられる。自己を高めたいと望んではいるものの、そのために努力しようとする意識にやや欠ける。

7月に実施した職場体験学習でも、自分から進んで質問することや返事等で消極的な態度が見られ、自己表現力やコミュニケーション力の不足が感じられた。また、8月に参加した「重茂味まつり」で、総合的な学習の時間のテーマに関わるインタビューをしたが、そこでは、積極的にインタビュー活動をする生徒と、全く動けずにいる生徒との差がはっきりと現れ、全く動けない生徒は、相手に拒否されることを恐れるために動けずにいることがわかり、ここでもコミュニケーション力の不足を感じた。そこに力を入れて育てていかなければならないと考えている。

### (3) 指導について

重茂の未来を考えるときに課題となることについて考え、それぞれ興味・関心のあるテーマを選択させ、調べまとめさせたい。調査に関わっては、文献調査やインターネットだけで終わらせず、インタビューやアンケートなど他者とのかかわりをもたせ、様々な人とコミュニケーションを図らせたい。また、調査した様々な情報の中から必要な情報を抽出しまとめ、考察し、自分の考えとして発表させたい。また、それぞれの発表を通して、重茂が発展するために、重茂の良さが失われないようにするために自分たちができること、考えられることは何かということを考え、深めさせたい。

## 3 指導計画

### 題材の目標

未来の重茂に向けて、何ができるのか、何をしていけばよいのかを調べ、考えよう

## 4 本時の指導について

### (1) 本時の目標

- ・協力して発表することができる。
- ・発表を聴き、疑問や意見を持つ。

### (2) 具体の評価規準

評価の観点	A (十分満足)	B (おおむね満足)	努力を要する生徒への支援
人間関係形成能力 (発表側)	グループの発表をリードしながら活動することができる。	自分の役割を果たし、力を合わせて活動することができる。	事前指導で、どのようにかわるか考えさせる。
人間関係形成能力 (聞く側)	観客の目線にたった質問や意見を発表することができる。	発表に対して、疑問や意見を持つことができる。	机間指導で、感想を持てるようにアドバイスをする。

### (3) キャリア教育にかかわって

4能力の「人間関係形成能力」について力を入れたい。

具体的には、「人間関係形成能力」については、①発表の際、グループの人たちと協力することでよりわかりやすい発表となるようにする。②他のグループの発表の内容をよく聞き、疑問や意見を持つ。以上の場面でねらいたい。